

2020年8月吉日

## TBWA\HAKUHODO と専門家の有志が制作 SNS で発信できる！災害対策集第三弾 『暑い夏に気をつけること 天気の急変への備え 2020年版』を公開

TBWA\HAKUHODO（本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：今井明彦）と FUKKO DESIGN（本社：東京都渋谷区 代表理事：河瀬大作）は、暑い夏に発生する天気の急変について、どのように身を守るべきかをまとめた『暑い夏に気をつけること 天気の急変への備え 2020年版』を発表しました。



新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しない中、九州を中心に各地で豪雨による災害が発生しました。また、梅雨明け以降全国的に猛暑が続いており、コロナ禍での熱中症の危険性も高まっています。そこで、TBWA\HAKUHODO と専門家の有志チームは、一人でも多くの方の命と健康を守ることに役立てればと願い、自然災害への具体的な対策をまとめた『大雨&台風への備え 2020年版』『熱中症への備え 2020年版』を発信してきました。

夏は、水害や熱中症だけでなく、天気の急変にも注意が必要です。大雨や台風のみならず、雷、竜巻などのさまざまな自然現象が発生しやすく、自然災害につながる事が多い季節です。そこで、このたび第三弾として、『暑い夏に気をつけること 天気の急変への備え 2020年版』を制作しました。これまでと同様に、TBWA\HAKUHODO のメンバー、元内閣府防災担当官房審議官の佐々木晶二氏、災害支援団体の調整などを行う NPO 法人全国災害ボランティア支援団体ネッ

トワークの明城徹也氏らとともに有志のチームを結成し、気象や医療の専門家などへの取材を経て、天気急変に対してどのようにすればよいかをまとめました。

気象に関する災害は、ある程度事前に予知することができます。そこで、積乱雲など災害につながる気象の現象を専門家とともにわかりやすく解説しています。さらに、理解しやすいことはもちろん、周囲の人々にも伝えやすいように、SNSで拡散させやすいデザインにしました。

『暑い夏に気をつけること 天気急変への備え 2020年版』は、4枚の画像にまとめられています。

① 「**天気急変時に気をつけること**」

雷、水害、竜巻が発生した時にどのように行動すれば良いか、また、そのような現象が起きる危険な場所はどこかをまとめています。

② 「**雷雨や竜巻をもたらす積乱雲を知ろう**」

気象災害をもたらすことが多い積乱雲がどのようなものか、そしてどのような現象を起こすかを説明しています。

③ 「**空や雲から危険を察知しよう**」

積乱雲に関連するさまざまな雲の種類について紹介しています。

④ 「**天気急変の情報を入手しよう**」

天気急変を知るためにどのように気象情報をチェックすべきかをまとめています。

自然災害について、すべてを事前に察知することは不可能です。また、どんな場合においても常に正しいと言えるような対策はありません。しかし、対策方法を選択するうえで、どのようなポイントに注意すればよいか、そして行動すればよいかをまとめています。ぜひ一読・保存していただき、一人でも多くの方の命と健康を守ることにお役立ていただければ幸いです。

『暑い夏に気をつけること 天気急変への備え 2020年版』

[http://www.tbwahakuhodo.co.jp/uploads/2020/08/200827\\_news\\_FUKKO-DESIGN\\_j.pdf](http://www.tbwahakuhodo.co.jp/uploads/2020/08/200827_news_FUKKO-DESIGN_j.pdf)

**暑い夏に気をつけること** コロナ禍でも  
すぐできる! **天気急変への備え 2020年版**

## 天気急変時に気をつけること

### 災害から身を守ろう

#### 雷のとき

**雷の音がしたら注意**  
雷の音が聞こえる場所では落雷の危険性があり、**すぐに危険な状況**です。



#### 建物か自動車に避難

すぐに避難して雷雨が過ぎるのを待ちましょう。



#### 水や電柱から離れる

再放電された雷(側撃雷)の危険性があります。**4m以内に近づかない**でください。



#### 水害のとき

##### 川や低地からすぐに離れる

河川で水かさが増え、濁ったりするときは危険です。大雨で**急に増水**することがあります。地下への浸水や、道路冠水も危険です。



##### 浸水した場所に注意

網罟やふたの無いマンホールへの転落に要注意。車が浸水したら**水深30cm以上**でエンジン停止の危険性があります。すぐに外へ避難を。



#### 竜巻のとき

##### 積乱雲に避難

屋外にいる時、竜巻が近づいてきたら、**ただちに積乱雲に避難**。車庫や物置などは危険です。飛散物に十分注意を。



##### 窓や壁から離れる

家の中心に近い、窓のない部屋を閉めてカーテンを引き、積乱雲を閉めてください。机の下で頭と首を守ってください。



### 危険な場所にはいないか確認

雷や水害の危険性が高い場所にいる場合には、**早めに避難**しましょう。

#### 周囲の開けた場所

雷やひょう、突風の危険性があります。

公園、グラウンド、田舎、海岸



#### 川のそば

雷や、河川の急な増水に注意が必要です。

渓流、河川敷、中州、川のある公園



#### 周囲より低い場所

道路や地下でも浸水のおそれがあります。

アンダーパス、地下



© FUKKO DESIGN JV © AD 協力：荒木健太郎（雷研究者）、佐々木晶二（元内閣府災害調査官）

**暑い夏に気をつけること** コロナ禍でも  
すぐできる! **天気急変への備え 2020年版**

## 雷雨や竜巻をもたらす積乱雲を知ろう

### 積乱雲とは

積乱雲は**気象災害**をもたらす代表的な雲です。雷をともなう雲で、多くは雲の上部が平ら（**かかと雲**）になっています。発達した積乱雲には**最大600万トン**の水が含まれているといわれています。



### 寿命は30分~1時間

積乱雲は、大気の状態が**不安定**なときに発生し、15kmの高さになることも、**寿命はわずか30分~1時間**で、数10mmの雨を地上に降らせず。



### 夏は夕方にピーク

夏の晴れた日は、**夕方にかけて大気の状態が不安定**になり、積乱雲が発生しやすくなります。山地で発生しやすく、平野部でも突然発生することがあります。



### 積乱雲が引き起こす現象

局地的大雨や落雷、竜巻、突風、降りよりの原因となります。



### 1時間に100mmの大雨のイメージ

いくつかの積乱雲がまとまると、1時間に100mmの雨を降らせることがあります。水の量で考えると、1m四方あたり1時間に1部、**年量100kgの小ぶりな缶**が数kmにわたって降ってくることになります。降った水は低地に流れたり地面にしみ込み、水害をもたらします。



出典：荒木健太郎「世界でいちばん危険な雲の教室」(三オックス)

© FUKKO DESIGN JV © AD 協力：荒木健太郎（雷研究者）、佐々木晶二（元内閣府災害調査官）

## 暑い夏に 気をつけること

コロナ禍でも すぐできる! 天気急変への備え 2020年版

### 空や雲から危険を察知しよう

青空が急に暗くなったり、危険を呼びかける雲が出たら要注意。積乱雲に関する雲から、天気急変を察知しましょう。

#### 頭巾雲(ずきんぐも)

発達中の入道雲の上部に現れます。積乱雲が発達しやすい状況です。



#### 濃密巻雲(のうみつげんうん)

この雲が見えたら、雲の先に発達した積乱雲がある可能性があります。



#### 乳房雲(ちぶさぐも)

積乱雲の進行方向前方に現れます。積乱雲が近づいている可能性が高いです。



#### アークラウド(アーチ雲)

雲が通過する時にはほぼ確実に突風が起こり、その後に雷雨となることがあります。



#### 漏斗雲(ろうとぐも)

竜巻が発生しようとしている危険な時に現れます。



出典: 荒木健太郎「世界でいちばん素敵な雲の教室」(三才ブックス)

© FUKKO DESIGN JV © AD 協力: 荒木健太郎(雲研究者)、佐々木晶二(元内閣府災害対策課長)

## 暑い夏に 気をつけること

コロナ禍でも すぐできる! 天気急変への備え 2020年版

### 天気急変の情報入手しよう

#### 最新の気象情報を確認しよう

##### キーワードをチェック

キーワードをテレビやWebニュース、SNSで聞いたら、いつもより空の変化に気をつけましょう。

- 大気の状態が不安定
- 所により雷を伴う
- 竜巻などの激しい突風

##### 注意する期間をチェック

電注意報を要チェック。警報・注意報は発表状況だけでなく、いつからいつまで何に気をつける必要があるのかを確認しましょう。



出典: 気象庁HP

#### いまとこれからの雨を確認しよう

来るのがわかれば「ゲリラ豪雨」も「ただの通り雨」になります。空の異変に気づいたら、すぐにレーダーで雨の状況を確認しましょう。

##### 積乱雲の位置と動きを知る

気象庁 雨雲の動き 検索



3時間前から1時間先までの雨雲の動きをチェック

##### これからの雨を知る

気象庁 今後の雨 検索



15時間先までの雨の状況をチェック

出典: 気象庁HP

#### 楽しみながら備えよう

レーダーで雨雲が通りすぎるタイミングを確認し、太陽と反対側の空を見上げると高層雲で虹に出会えます。日頃から空を楽しむために気象情報を使い、いざというときに備えましょう。



出典: 荒木健太郎「雲を愛する秋祭」(三才ブックス)

© FUKKO DESIGN JV © AD 協力: 荒木健太郎(雲研究者)、佐々木晶二(元内閣府災害対策課長)

## 【プロジェクトリーダー TBWA\HAKUHODO 兼 FUKKO DESIGN 木村充慶 コメント】



『大雨&台風への備え 2020 年版』、『熱中症への備え 2020 年版』ともに、多くの人から、画像を活用したという連絡をいただきました。私たちが作ったものが少しでも活用されたとしたら嬉しい限りです。ただし、災害や防災についてさまざまなメディアで紹介されていますが、まだまだ多くの人に伝わっていないことを実感しています。そこで、今後、大雨&台風、熱中症などの代表的な対策だけでなく、防災につながる幅広い情報をまとめていこうと思います。その一つとして『天気 of 急変への備え 2020 年版』をつくりました。夏は天気が急変しやすいと言われますが、実際にどのような現象が起きているのか、そして、それらの災害を起こす代表的な雲である積乱雲がどのようなものかといった情報が盛り込まれています。すでに夏も終盤になっていますが、まだまだ危険な状況が起こるかもしれない。そう考え、前回同様に有志のメンバーが集まり、超特急で作業し、完成しました。

元内閣防災官房審議官の佐々木さんや、災害支援団体の調整などを行う JVOAD の明城さん、気象や医療の専門家、そして TBWA\HAKUHODO のデザイナーやコピーライターなどです。この画像を参考に、少しでも対策をしていただけたらうれしいです。

## プロジェクトメンバー

プロジェクトリーダー：木村充慶 (TBWA\HAKUHODO/FUKKO DESIGN)

アートディレクター：浜田智子 (TBWA\HAKUHODO)

コピーライター：大嶋美月 (TBWA\HAKUHODO)

デザイナー：西井真知子 (イチロク)

専門家：佐々木晶二 (元閣内閣防災官房審議官)、明城哲也 (NPO 法人全国災害ボランティアネットワーク<JVOAD>事務局長) など

### TBWA\HAKUHODO (TBWA 博報堂) について

2006年に博報堂、TBWA ワールドワイドのジョイントベンチャーとして設立された総合広告会社です。博報堂のフィロソフィーである「生活者発想」「パートナー主義」とTBWA がグローバル市場で駆使してきた「DISRUPTION®」メソッドを中心とした独自のノウハウを融合。質の高いソリューションを創造し、クライアントのビジネスの成長に貢献します。「DISRUPTION®」は既成概念に縛られず、常識を壊し、新しいヴィジョンを見いだすTBWA\HAKUHODOの哲学です。マーケティングに限らず、ビジネスにおけるすべての局面でディスラプションという新しい視点を武器に事業やブランドを進化させるアイデアを生み出します。

TBWA\HAKUHODO は、2020年度より、地球環境や社会課題に対しての取り組みである「ソーシャルグッド」を、会社として、そして社員一人一人が積極的に活動するための『TH for GOOD』プロジェクトを社内向けに開始しています。このたびの『暑い夏に気をつけること 天気の急変への備え 2020年版』においても、『TH for GOOD』プロジェクトの一環として社員の有志チームの活動を後押ししています。

<http://www.tbwahakuhodo.co.jp/>

### FUKKO DESIGN について

一般社団法人 FUKKO DESIGN は、「民間ビジネスの力を結集して新たな“復興”をつくる」を活動テーマに、平時のときから行政、民間企業、メディアとのネットワークを構築し、有事の時にすぐにサポートする体制をつくるほか、有事の際の被災地に関する情報発信の支援、復興タイミングにおける地域の魅力発信、企業のマッチングサポート支援などをトータルにデザインしていく団体として活動していきます。

<https://fukko-design.jp/>